

AKB

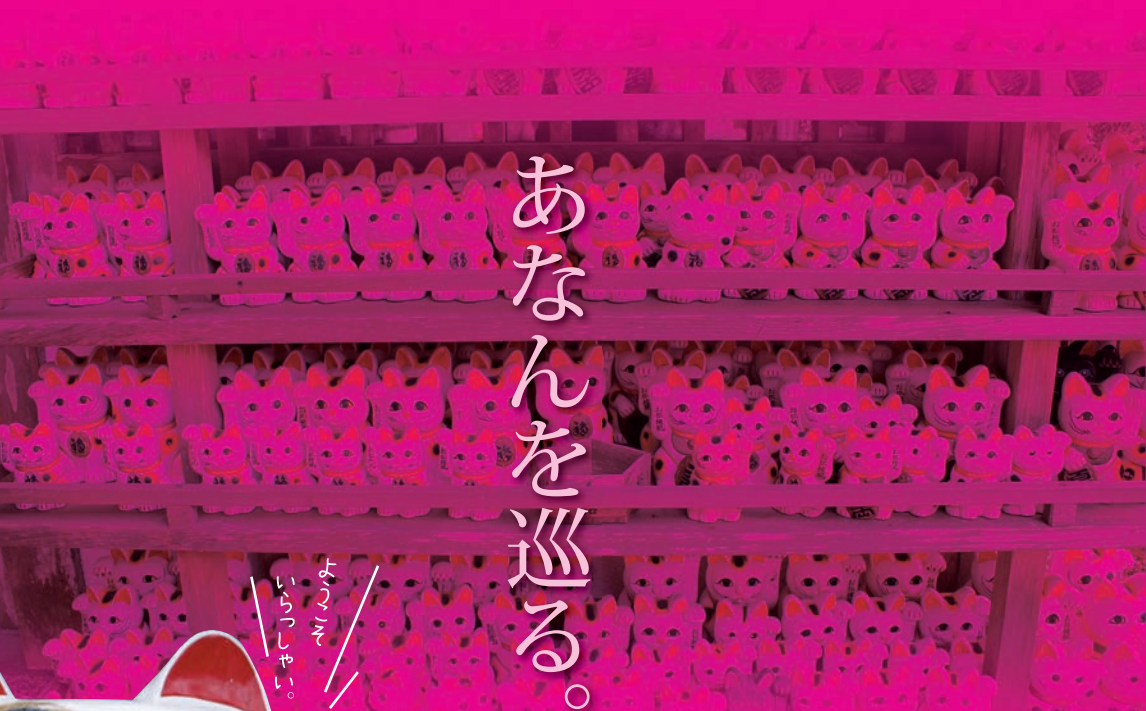


阿南市観光ブック

あなんが

何となくわかる本。





あなんを巡る。




あなん
の
まじか
まじか

ジャンボ招き猫がお出迎え！
受験生のつよへい 味方♪

1 お松大権現

通称「猫神さん」。江戸時代、奉行の不当な裁きを不服として直訴し処刑された「お松」という女性の愛猫が妖怪変化となり、奉行の家を代々祟り続け仇を討ったとの伝説が残っている。有馬・鍋島と共に日本三大怪猫伝として名高い。また勝負・願いの神様で、受験シーズンは合格祈願の参詣者で賑わう。



 猫神さんだけあって、約1万体の招き猫や高さ2mジャンボ招き猫、本物の猫までいます。猫好きにはたまらない場所です。



●場所 / 阿南市加茂町不ヶ63
※徳島バス阿南加茂谷線「加茂谷」下車

阿南市の旅のお供に
ぜひお役立てください。

「A(阿南市) K(観光) B(ブック)」です。
再発見した一冊が
そつした阿南市の魅力を探険し、

LEDの世界的な生産も誇る、徳島県阿南市。
四国遍路のお接待文化がこの一方で
古墳や阿波水軍の古い歴史と
温暖な気候と
海・山・川の自然に恵まれ、



四国で最初に日が昇るまち
阿南市へようこそ

阿南市観光ブック Contents

- ◎ あなんを巡る。 P3
- ◎ 特集・旬のキーワードで再発見！あんな阿南、こんな阿南
キーワード1 四国最東端 P10
- キーワード2 まちづくり P16
- キーワード3 技の伝承 P20
- キーワード4 歴史・史跡 P24
- ◎ アクセスマップ P28
- ◎ 道の駅・公方の郷なかかわ
- ◎ ANANトピックス



県下最古の
神社建築。



7 金刀比羅神社

海を鎮める神を祀る金刀比羅神社には、『災い除けの黄色い塩』や『身代わり人形』があり、祈願をお願いするといいただける。また、子供神楽の『博学狸金びら三本足狸問答』が古くから語り継がれており、その三本狸を祀った祠もある。

●場所 / 阿南市福井町土佐谷 3
※ JR 牟岐線「阿波福井駅」下車→徒歩15分



大きな
LED薬師如来
が出現。

6 萬福寺

「お不動さんの市」で住民から親しまれている。見る人にぬくもりや癒しを感じてもらおうと、2010年6月、LEDで出来た高さ6m、幅3mの薬師如来の電飾を寺が設置した。毎日夜7時～10時頃まで点灯。



●場所 / 阿南市桑野町岡元 116



境内に樹齢
700年余の
大楠が群生。

5 轟神社

弘仁元年(814)に創建したと伝えられる古社。境内の大楠は県の天然記念物にも指定。その根元に棲む2匹の白蛇は轟明神の使者として現れ、見た者には幸福が訪れるという伝説がある。



●場所 / 阿南市新野町北宮ノ久保
※ JR 牟岐線「新野駅」下車→徒歩15分

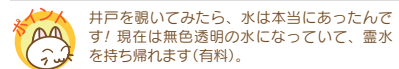
3 平等寺

四国霊場二十二番札所 創建八一四年。



徳島県指定有形文化財、阿南室戸歴史文化道に指定。

弘法大師がこの地で修行中、薬師如来を感じし自らその像を刻んで本尊として伽藍を建立。人々を平等に救うために寺号を平等寺とした。またその時に加持水を求めてこの地を掘ったところ、白い霊水が湧き出てきたため、山号を白白山としたという。この湧き水は万病の妙薬とされた。



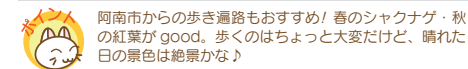
井戸を覗いてみたら、水は本当にあったんです！現在は無色透明の水になっていて、霊水を持ち帰れます(有料)。

●場所 / 阿南市新野町秋山177
※ JR 牟岐線「新野駅」下車→徳島バス阿南「新野局南」下車



「西の高野」と言われる四国霊場二十一番札所。
2 大龍寺

延暦11年に弘法大師が創設したと言われるこの寺は、標高602mの山頂付近にある遍路泣かせの難所但现在はロープウェイが運行している。周囲には樹齢数百年の老杉が生い茂り、江戸時代に再興された仁王門・六角経蔵・本堂・大師堂・多宝塔などの諸堂が立ち並んでいる。



阿南市からの歩き道もおすすめ！春のシャクナゲ・秋の紅葉が good。歩くのはちょっと大変だけど、晴れた日の景色は絶景かな！

●場所 / 阿南市加茂町龍山 2
※徳島バス丹生谷線「和食裏」下車→「太龍寺ロープウェイ」
※徳島 IC から車で約75分



ANAN こま犬めぐり

個性豊かな阿南のこま犬たち。

イイ顔
してます☆

佐田神社
八坂神社
三栗神社
天神社
お松大権現
子安神社
室姫神社
太龍寺
おたごまいぬ

こ...こま...ネコ?
ライオンですか?
番外編
太龍寺で会ったワンコ。
中Q根ばりのネジネジマフラ。

轟神社・取星寺

災いの星が
降臨？



8 取星寺

弘法大師が修行中に出現した妖星(種々の災いを起こす星)を秘法で降臨させた時、山頂の松にかかったその星を拾い、妙見菩薩と虚空菩薩を本尊とし、建立されたといわれている。

●場所 / 阿南市羽ノ浦町岩臨宇松ノ本 71
※ JR 牟岐線「羽ノ浦駅」下車→車で10分

「阿波松島」橘湾を眺む風光明媚。

4 津峯山・津峯神社

阿波三峰のひとつ津峯山一帯が桜の名所として知られ、津峯スカイラインや参詣リフトからの眺めは絶景。山頂には津峯神社があり、開運延命・病氣平癒・海上安全の神として信仰され、春の桜祭は力を競う「ささげもち」競争を開催。秋には観月祭、中秋の名月には「浦安の舞」が奉納される。

●場所 / 阿南市津乃峰町東分 343
※ JR 牟岐線「阿波橘駅」下車→徒歩30分
JR 牟岐線「見能林駅」下車→車で10分

6月と12月に除災行事「大祓式」がある。6月の「茅の輪くぐり」では、茅の輪をくぐって心身ともに清らかに...

ニワトリたちも
境内で
お出迎え。

5



15 中林海岸

室戸阿南海岸国定公園内にあり風光明媚で美しい海岸線。海には小さな島や岩礁がたくさんあり、磯釣りのポイントにもなっている。

●場所 / 阿南市中林町



西日本唯一の松原！
あぁ絶景かな

18 北の脇海水浴場

年間約5万人が訪れる徳島県最大級の海水浴場で、「日本の渚百選」の一つに選ばれている。きれいな水と遠浅、広大な松原と2kmにも及ぶ長い砂浜は西日本随一。臨海道路や駐車場、休憩所、シャワーなども完備し、毎年車で訪れる家族連れや若者達が賑わっている。

約30haといわれる松原がすこい。まさに白砂青松の景観。地引き網の体験もできます！

●問合せ / 0884-22-3290 (同市商工観光課)
●場所 / 阿南市中林町
※ JR牟岐線「阿南駅」下車 → バスで10分



14 午尾の滝

深瀬町の静かな山間にひっそりと佇む落差30mの滝。水量の少ない冬は白布をさらしたように美しく、水量豊かな夏は豪壮である。また春の桜、秋の紅葉と周囲の樹木を縫って落ちる景観は一見の価値あり。

●場所 / 阿南市深瀬町
※徳島バス阿南 加茂谷線「中央橋南」下車 → 徒歩10分
※国道55号線「那賀川橋」→ 11km (30分)



17 石門公園

周囲ののどかな景観とは不釣り合いな岩山が荒々しくそびえる自然公園。ロッククライミングのゲレンデとしても利用されている。近くにはひょうたん池などがある。

●場所 / 阿南市長生町
※ JR牟岐線「阿南駅」下車 → 車で20分



橋湾を一望できる場所です。

13 たちばな観音

大谷山の頂に海上安全と市民の幸福・繁栄を願って建立された高さ6.28mの白衣観音像。展望地から橋湾のパノラマ風景を楽しめる。

●場所 / 阿南市橋町



足利家ゆかりの資料や古いグローブまで幅広く展示。

16 阿波公方民俗資料館

かつてこの地に移り住み上洛をめざした室町幕府足利将軍の末裔「阿波公方」の資料の他、昔なつかしい農具・漁具・民具・旧日本軍の軍服なども展示されている。

秋は周辺がコスモス畑に一変。近くには広大な平野の田園風景の中に平島公方館跡に残る墓地があります。

●営業 / 9:00~16:30 (入場有料)
●問合せ / 0884-42-2966
●場所 / 阿南市那賀川町古津339
※ JR牟岐線「西原駅」下車 → 徒歩15分



LEDのキラキラドームも毎晩点灯♪

11 牛岐城趾公園

LED (発光ダイオード) で美しく彩られた公園は、2006年に「恋人の聖地」として認定。夏(7月)と冬(クリスマスシーズン)には、光のイベントが開催される。展望台からは阿南市街が一望できる。

恋のお守り、売ってます♪ (光のまちステーションプラザで販売)

●場所 / 阿南市富岡町トノ町24-3
※ JR阿南駅より徒歩3分

10 J'POWER&よんでん Wa ンダーランド



天井からはクジラの骨標本が。



様々な体験ができる館内。



館内は発電の仕組みや科学の不思議をわかりやすく紹介しているスパイラル館、巨大な航空写真の床上を散策して観光スポットを巡ることができるクリスタル館があり、屋外には四季を彩る草花や大きな芝生広場や楽しい遊具がある。

●営業 / 10:00~17:00 (毎週火曜日・年末年始休館)
●問合せ / 0884-34-3251 (J'POWER&よんでんWa ンダーランド)
●場所 / 阿南市福井町舟端1

入場無料!! 月に1回はイベントがあるので、親子で楽しめる! 見晴らしもいいよ!



リバーズスライダーが迫力満点!!

9 阿南西部公園 (ひまわりランド)

山の斜面を利用して作られたので見晴らしもよく、眼下には那賀川が望める。自然の地形を生かした多目的芝生広場。遊歩道を中心に気軽に運動や遊びに親しめる。

公園の入口や園内には季節によって色んな花が咲いています。5月はシャクヤクが満開でキレイ。

●場所 / 阿南市中大野町南傍所



近くの穴観音様も楽しいです。

19 明谷梅林園

県下で最も大規模な梅の名所で、約5万m²の個人敷地に様々な品種約4000本を植栽。見頃は2月上旬～3月上旬。



園をちょっと上がったところにある奥の院「穴観音様」洞窟は、一周すると幸せになれるという言い伝えがあるらしいです。



- 場所 / 阿南市長生町明谷
- ※ JR 牟岐線「阿南駅」下車→車で20分
- ※ 徳島バス丹生谷線「明谷梅林口」下車→徒歩30分



園から眺める景色は徳島38景のひとつ。

20 椿自然園

園内には700余种3000本の椿。同園では椿の栽培指導、苗木の販売展示があるほか、園内には宿泊設備やレストランもあり、地元の新鮮な魚貝類が味わえる。



椿はもちろんですが、橘湾を眼下に見下ろす風景も見物です。入園も無料♪

- 問合せ / 0884-33-1127 (椿自然園)
- 場所 / 阿南市椿町瀬井 45
- ※ JR 阿波橋駅から車で20分
- ※ 徳島ICから国道55号経由で43km90分



ライトアップされた夜桜が幻想的。

21 岩脇～桜づつみ公園

桜の名所として知られ、付近には明現神社や、第19番札所立江寺の奥の院と称せられる取星寺がある。花見シーズンのライトアップされた夜桜は見物。



桜のほか、藤やツツジなどが植樹されていて、自然を堪能しながら散歩ができます。

- 場所 / 阿南市羽ノ浦町岩脇
- ※ JR 牟岐線「羽ノ浦駅」下車→徒歩40分



伊島でしか見られない可憐なユリ

24 伊島のササユリ

蒲生田岬の東海上、紀伊水道に浮かぶ周囲9.5kmの伊島（人口約200人）。ここだけに自生する固有種のイシマササユリが、優雅な花を咲かせる。6月が見頃。



上空から見た島の形が「い」という字に似ているから「伊島」らしい。旅館も1軒あるので、ノンビリしたい方にはオススメ♪

- 問合せ / 0884-22-3290 (阿市商工観光協議会)
- 場所 / 阿南市伊島町
- ※ JR 牟岐線「阿波橋駅」下車→徒歩5分の答島港から伊島まで連絡船1日3便。



23 龍山荘の紫陽花

歩き遍路道(太龍寺)の途中、加茂町にある「龍山荘」。山の斜面にサツキを“寿”に植え、周りを沢山の紫陽花が咲く。時期になると遠方からわざわざ見に来る人も。



道端にも沢山のアジサイが咲いています。見頃は6月下旬くらいまで。

- 場所 / 阿南市加茂町黒河6
- ※ 徳島バス丹生谷線「和食東」下車



園内一面に広がる紫が鮮やか。

22 住友菖蒲園

造園業を営む住友さんが整備している自宅の庭。シーズンには約150坪の園内に40種類10,000本の菖蒲が咲いているほか、紫陽花や立ち葵も咲いていて、一般公開されている。見頃は6月中旬位まで。



シーズン中はノボリが立つので初めて行く方もわかりやすいです。雨の日の菖蒲もオススメです。

- 問合せ / 0884-42-2226 (住友菖蒲園)
- 場所 / 阿南市那賀川町江野島 872-3

特集・旬のキーワードで再発見!

あんな阿南、

KEYWORD

四国の東、徳島の南。徳島県で二番目に多い人口の約七万七千人が暮らす阿南市は温暖な気候と豊かな自然に恵まれ見どころ、遊びどころ、食べどころがいっぱい。そんな中でも近ごろ話題のキーワードを軸に阿南市の魅力を見つめてみます。

こんな阿南。

阿南市の東南、室戸阿南海岸国立公園内にある蒲生田岬は、四国の最東端の地。東側の海上約6キロには磯釣りやイシマササユリで知られる伊島が浮かんでいます。この辺りは四国で最初に朝日が昇る場所といわれ、特に晩秋から冬にはΩ（オメガ）の形をした珍しい日の出「だるま朝日」が見られることもあります。

岬の北側（写真上部）には椿泊浦が広がり、その北側に半島と橋湾が広がっています。山並みが続く半島に挟まれた穏やかな椿泊浦の一角は自然がつくった良好な港で、漁業が盛んなのはもちろん、土佐や上方への交通の要衝としても古くから重宝されてきました。源平合戦の折には源義経が「椿浦」へ上陸したという説もあります。天正14年（1586）には阿波水軍の大将、森家が土佐の押さえとして椿泊に移住。森一族は江戸時代を通じて阿波藩の海上方として活躍しました。

蒲生田岬一帯は、雄大な大自然と歴史ロマンが詰まった場所なのです。

■蒲生田岬灯台

岬の突端のこもり高い山の頂上に立つ白い灯台は大正13年に点灯。岬と伊島の間の「橋杭の瀬」は潮流が速く、岩礁も多くて航行が難しいので灯台の役割は大変重要です。

標高約40メートルの灯台展望台からは白い波しぶきを立てる礮（はえ）が点在する雄大な太平洋や、緑濃い阿南の山々の美しい景色が楽しめます。天気の良い日には遠く和歌山県の日岬や、北の方角には大鳴門橋や淡路島まで見渡せます。



灯台まで是一直線に伸びる石段を上るか、回り込んで上がっていく遊歩道を登るか。ふもとにはピクニックに訪れたい広場がある。

■モニュメント「波の詩」

灯台へ向かう、遊歩道の入口横に2010年秋、石のモニュメント「波の詩」が完成しました。阿南市在住の彫刻家・大津文昭さんの作品で、高さ2.6メートル、幅3.4メートル、奥行0.8メートルの大作です。作品の中央にぽっかり空いたハート型の穴からは大海原の水平線や伊島の姿が望め、蒲生田岬の波や風、大空と一体化しています。

ハート型の穴は大人2人が座れる大きさで、ここで愛を誓い合つた恋人



たちは結ばれるということに…。真偽はともかく、モニュメントが設置されてからはこの「恋人岬」を訪れるカップルが増え、散策や記念撮影をして楽しんでいます。

■ウミガメが帰ってくる浜

温暖な気候に恵まれた蒲生田地域では、蒲生田大池のアンペライの群生などをはじめ、熱帯・亜熱帯植物の貴重な群落が見られます。

蒲生田海岸はアカウミガメ産卵地として知られ、上陸数は県内トップ。阿南市ではウミガメ保護条例を公布し、地元の方も保護活動に熱心に取り組まれています。



休校中の蒲生田小学校では1954年から38年間ずっと児童がウミガメ上陸の観察を記録し、数々の賞に輝いた。現在は椿町中学校と地元の方が活動を引き継いでいる。



阿波水軍の海上輸送を描いた屏風絵。江戸時代の参勤交代では大小の船で船団を組み、森甚五兵衛が指揮して土佐へ向かったという。

橋湾と蒲生田岬の間、紀伊水道に伸びる半島の南側にある椿泊町は、海と山にはさまれた細長い漁師町。東西約2キロメートルにわたって狭い曲がりくねった道が走り、両側に家が立ち並んでいます。ここは昔、阿波水軍の大将であった森家の本拠地でした。森家は蜂須賀氏に仕えて3千石を与えられ、天正14年(1586)二代目村春のときに移住して、土佐への押さえとして椿泊に「松鶴城」を築城。ここを拠点に朝鮮出兵や大阪冬の陣に参戦して、阿波水軍の活躍ぶりは全国に知れ渡りました。

四代目村重からは甚五兵衛を名乗り、江戸時代は徳島藩の海上方として参勤交代などで輸送を担当。椿泊は森家の城下としてにぎわい、明治以降も漁業が発展していきました。現在、漁業では特産のハモをはじめ、タチウオやイセエビ、たくさん種類の魚介類に年間通して恵まれ、県内トップの水揚げ高を誇っています。人情豊かな漁師町は映画『奇跡の海』の舞台にもなりました。

敷地が狭いため2階建ての家が多く、1階2階とも飾り付き欄干が見られる。



■椿泊の町並み

車一台がやっと通れる細い道の両側には家々が肩寄せ合って立っています。古い木彫りの手すりが残るレトロな風情の家や新しい住宅、その間を散策すれば漁師町の豊かな人情が感じられます。

東へ進んだ突きあたりには「松鶴城」の跡地に立つ椿泊小学校があり、



松鶴城跡に立つ椿泊小学校。正門には「松鶴城」の文字が刻まれた石碑が立っている。

左側が燈崎と刈又埼灯台。すぐ前には舞子島で、遠くに見えるのは伊島。右に蒲生田岬が伸びている。

すぐ南側はもう海。さらに東へ行ったら半島の突端は燈崎(ひうちざき)と呼ばれて火打石の採石場跡が残っています。先端には刈又埼灯台が立ち、すぐ前方には舞子島、遠くに伊島、南に蒲生田岬の半島が見渡せ、大海原の爽快なパノラマにリフレッシュできます。

■椿川のシロウオ漁

椿泊の西にある椿町の椿川周辺では、毎年2月下旬から春の風物詩のシロウオ漁がおこなわれています。ハゼ科のシロウオはヒウオとも呼ばれ、水がぬるむ春になると産卵のために満ち潮に乗って川へ遡上してきます。川岸から2メートル四方の四つ手網ですくい、透明で体長4〜5センチのピチピチと跳ねるシロウオは、躍り食いやすまし汁でいただくのが定番。4月上旬までの短い期間の珍味です。



椿泊の道明寺の裏山には森家累代のお墓が並んでいる。

高台にある森家の墓所からは椿泊の町並みと、穏やかな海が見渡せて絶景。(左)





さざなみの湯 露天風呂



うみがめの湯



健康福祉風呂
(ふれあいの湯)
車イスも入浴可能。
予約制です。

サウナ

さざなみの湯

うたせ湯

日本三景の一つ松島に例えられる阿波の松島、橘湾の穏やかなさざ波をイメージにしたお風呂からは、遠くは淡路島、和歌山が紀伊水道を挟んで眺望できます。



樫泊との分岐点からは、温泉までは海岸沿いのくねくね道。湾内の風景を満喫しながら、のんびりとドライブ。

休憩所



地元の海の幸をお楽しみ下さい。入浴前に予約するのがオススメです。



ウミガメを連想させる面白い形をした露天風呂の「うみがめの湯」。対岸に見えるのは阿波水軍の本拠地であった樫泊。

かもだ岬温泉保養施設



新春イベント



無料レンタサイクル

自転車を無料で貸し出しています。お気軽にご利用下さい。
【かもだ岬温泉】から蒲生田灯台駐車場までは、自転車で約10分です。

蒲生田岬に通じるトンネル手前の高台に、2001年に阿南市が開業した『かもだ岬温泉保養施設』があります。高台からは樫泊湾や舞子島が目の前に。晴れた日は淡路島まで臨む美しい大海原が一望できます。

県内で最高温度とされる温泉は、おいがなく肌ざわりが軟らかで気持ちがいいと大評判。岬に上陸するウミガメや阿波の松島、橘湾のさざ波をイメージしたお風呂は、露天風呂や時間による貸切もできます。眼下に広がる碧い海を眺めながら100パーセントの源泉で至福のひと時をすごしませんか。

【施設概要】

- ◎温泉 / 低張性弱アルカリ性温泉・温度41.4℃・湧出量90ℓ/分・適応症—神経痛、筋肉痛、関節痛等
- ◎利用料 / 一般600円、児童300円(3歳未満無料)
- ◎営業時間 / 10:00~19:00
- ◎休業日 / 月曜日(祝日の場合はその翌日)
- ◎問い合わせ / TEL.0884-21-3030

ひかりのまちづくり

阿南市に本社がある日亜化学工業株式会社は、1993年に史上初めて高輝度「青色発光ダイオード」の製品化に成功し世界を驚かせました。

阿南商工会議所青年部がイベントで日亜化学から無償提供されたLEDを桑野川潜水橋に飾ったのが始まりで、2002年より牛岐城趾公園や商店街にイルミネーションを設置。感動の輪は次第に広がり、「光のまち阿南」というユニークなまちづくりに発展していきました。2004年よりAnan LuminousTown Project が始まり「光マンタラドーム」が登場。今では全国で定番のLEDイルミネーションの先駆けとなりました。竹とLEDを組み合わせた、高さ30メートルの「阿南スカイツリー」や、阿波踊り竹人形とのコラボなど、夏祭りとか

リスマスイベントでは牛岐城趾公園を中心に多くの人々で賑わっています。

キラキラスポット

牛岐城趾公園

◎ LED 点灯時間 日没～22時

阿南駅から徒歩10分の所にある戦国時代の城跡で、現在は「恋人の聖地」にも認定されているカップルに人気の公園です。展望台へ続く階段を中心に10万個のLEDが輝きます。



階段を上るとキラキラドームが。



阿南高速バス乗り場



浜の浦公園



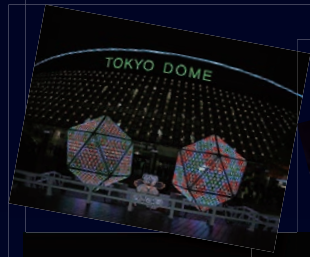
阿南駅前児童公園

光のまち
ステーションプラザ

物産・観光案内所新設!

阿南駅前にある光をテーマにしたコミュニティ施設です。玄関口に光のアーチ、外壁部に3万個のLED、2階には大小さまざまな光のオブジェが展示されています。入場無料。光の体験工房や特産品の販売コーナーもあります。

◎ LED 点灯時間
プラザ / 10:00～20:00
外壁 / 日没～20:00
アーチ / 17:00～20:00
◎ 問合せ TEL.0884-24-3141
(毎週月曜・年末年始休館)



温暖な気候と自然に恵まれた阿南市はスポーツが盛ん。中でも、野球は昔から人気が高く、少年から古希(70歳)まで、100を超える連盟登録をしたチームがあります。幅広い年齢層でこれだけ多くのチームがある地域は全国でも珍しいと云う。

2007年には、四国最大級の「JAアグリあなんスタジアム」の完成を機に「野球のまち阿南構想」がスタート、2010年には産業部の中に「野球のまち推進課」が創設されました。「野球」の冠がついた課がつけられるのは全国の自治体でも初めての事です。

阿南市は地域経営戦略として野球を通じて産業・観光の活性化とスポーツ振興をはかることを決定、野球によるまちおこしは全国からも注目を浴びています。

また、2015年には、徳島県南部健康運動公園内に、県で初となる本格的屋内練習場(あなんアリーナ)が完成。悪天候でも安心して野球を楽しむことができます。



屋内練習場(敷地面積 4,270k㎡)



阿南市の60歳以上の女性らでつくるチアリーディングチーム「ABO 60」



道の駅 公方の郷に完成した89番「野球寺」のモニュメント



放送・記録員養成への取り組み



福井高校 選抜直前合宿



	7	8	9	10	R	H	E	
瀬戸内	0	1	0	0		120	Be...	
	0	0	1			111	...	
1	2	3	4	5	6	7	8	9
宇真	9	8	5	1	3	2	6	4
林	8	7	5	4	6	2	1	9
部田	川田	光野	島井	藤津	内上	谷藤	井克	尾本
								藤本

野球観光ツアー

草野球談義に花が咲く

阿南観光と野球の試合をセットにしたこの野球観光ツアー。単独チームで訪れても地元チームとの対戦をセティングしてくれ、審判員などサポート体制も整っています。

特に中高年チームの参加者には、うぐいす嬢に「バッテリー、〇君」と呼ばれスコアボードに名前が掲示されるのは大好評。球友と大好きな野球を楽しむ親交を深める濃い時間はかけがえのないものとなっています。

また、野球だけでなくソフトボール観光ツアーも行われています。



野球を楽しんだ後は観光や交流会での阿波踊りを楽しんで。

野球観光ツアーお問合せ

阿南市「野球のまち推進課」
tel.0884-22-1297 mail:yakyuunomachi@anani.tokushima.jp

阿南・モンゴル 野球で草の根の国際交流

1991年、モンゴルの少年の「野球を始めたいが道具がない」との一通の手紙が、交流の1頁を開く。那賀川町体育協会を中心にして、全国に呼びかけ4トントラック一杯の野球道具をモンゴルに贈呈。野球少年たちへの民間交流も始まった。更にその情熱は浄財1300万円(モンゴルでは13億円にあたる)が集められ1996年には、モンゴルウランバートルに国立野球場が建設された。2013年、日本とモンゴルの野球交流を描き、阿南市でロケが行われた映画「モンゴル野球青春記」が、米ロサンゼルスで開かれた第5回オールスポーツ映画祭の長編映画部門でグランプリを受賞した。



2013年阿南市モンゴル訪問



2012年モンゴル野球青春記ロケ風景



JAアグリあなんスタジアム

両翼100m、センター122mと甲子園球場より広く、黒土と天然芝の良好なプレー環境、四国最高レベルとされる照明設備で硬式野球のナイター試合も行える本格スタジアム。



技の伝承

先人たちの想いを今に伝える

中村團大夫座（岡花座）

人形浄瑠璃は江戸時代初期の17世紀初めに、三味線の伴奏で語られる義太夫節の浄瑠璃と人形芝居が結び付いて生まれた芸能です。阿波に伝来する人形浄瑠璃の始まりは定かではなく、淡路の人形芝居を阿波の百姓たちが習得し、阿波の人形芝居が起ることになったといわれています。

絶頂期である明治中頃には、阿南市に24座の人形座があったそうです。現在新野町で江戸末期の1805年（文化2年）から活動をしている中村團大夫座（岡花座）は、現存する人形座の中では、最も古いといわれています。秋のお祭りの他、阿南市文化会館での公演や、全国で公演活動を行い、2012年には宮城県気仙沼市で「被災者を伝統芸能で元気づけよう」と復興支援公演を行いました。

また、地元新野中学校に民芸部が発足し、指導もを行っています。



山口座木偶保存会

かつて、神社社の境内には農村舞台があり、藤原惣之蒸座（通称山口座）による人形浄瑠璃芝居が盛んに行われていました。その始まりは天保年間（およそ180年前）、地元元の農民が奉納する「地芝居」では最も古い形式といわれています。現存する62体の木偶人形は、市の有形民俗文化財にも指定され、阿波木偶文化の足跡と先人たちの想いを今に伝えています。

戦後、娯楽の多様化やテレビの普及などで山口座の活動は衰退しましたが、数人の有志によって三番叟だけは継承されています。昭和60年頃からは神社社敬神婦人会も加わり再興に力を注いでいます。2010年には山口座木偶保存会に受け継がれ、12人の有志が妙技に磨きをかけます。



市民ミュージカル「新開桜」に出演



阿南市有形民族文化財（山口座所有）



阿南市伝統工芸 特産品
阿波踊り竹人形



阿南市の特産品である竹は、江戸時代に中国から孟宗竹が持ち込まれたのが始まりとされています。タケノコをはじめ様々な竹製品や竹炭などが生産され、阿南市は「竹の里」として知られるようになりました。

阿波踊り竹人形作りは、戦後間もないころ、阿南市新野町で故小川練三さんが作り始めたのがきっかけでした。昭和43年頃から竹人形の需要が高まり、46年頃の最盛期には新野町で15軒約50人の人形師がおり、製作・出荷をしていました。

しかし昭和48年のオイルショックやバブル経済の崩壊と共に竹人形の売れ行きは減少し、人形師も高齢化により減少してきました。

2009年、この貴重な伝統工芸を受け継ごうと、阿南商工会議所が後継者養成講座を開き、故鶴羽博昭さんの指導のもと、8人の後継者が育成されました。今、阿南の阿波踊り竹人形は「活竹（かつちく）人形」として受け継がれています。



残された伝統工芸を後世に伝える
阿南市竹人形伝承会

阿南市は、「伝統工芸竹人形」を伝承していくことを目的に、2010年「阿南市竹人形伝承会」を発足。竹人形を「阿波踊り活竹人形」と新たに命名し、阿南市の観光土産品として商品開発・販売を始める。国民文化祭の記念品として藍染めの手織布を生かし、徳島をPRする「やまと」を開発しました。また、LEDでライトアップし、夜の雰囲気を出しながら、伝統に新しさをプラスした工夫も加え、阿波踊り活竹人形再興へと活動を続けています。



竹人形づくりを体験しよう!

JR 阿南駅の南隣にある『光のまちステーションプラザ』では、月・木曜日以外の午前10時から午後4時まで、阿波踊り活竹人形づくりが体験できます。プラモデルのように組み立てて…というほど簡単にはいきませんが、指導を受けながら自分の手でじっくりと人形を作る楽しさや、出来上がった時の喜びは格別です。(要電話予約 / 1体300円)

連絡先：光のまちステーションプラザ TEL.0884-24-3141 休館日：月曜日、祝翌日



「阿南市竹人形伝承会」作品販売先

- ◎道の駅 公方の郷なかがわ 阿南市那賀川町大字工地 803 TEL.0884-21-2631
- ◎道の駅 鷺の里 徳島県那賀郡那賀町和食字田野 89 (太龍寺ロープウェイ乗り場)
- ◎道の駅 日和佐 徳島県海部郡美波町奥河内寺前 493-6 TEL.0884-77-2121
- ◎光のまちステーションプラザ 阿南市富岡町今福寺 40-17 TEL.0884-24-3141



遍路道

当時の信仰を今に伝える

四国八十八箇所霊場を巡る遍路道は空海ゆかりの巡礼道として、多くの人々が行きかっています。

2010年、阿南市では四国で初めて第21番札所太龍寺周辺の遍路道が国の史跡となりました。追加指定を目指している「かも道」も古道としての景観が長い距離をとおして色濃く残っています。空海行脚の道としても記載され、南北朝時代の石造物が残る四国最古の遍路道です。近年この道を多くの人が歩かれ、脚光をあびています。

2013年10月には遍路道に関する全国大会が阿南市で開催され、更なる追加指定、そして四国遍路の世界遺産に向けた取り組みが活発化しています。



弘法大師坐像



「かも道」二十六丁石付近の遍路道

阿波公方

阿南市南方文化の中心地

1534年（天文3年）、室町幕府第10代將軍足利義植の養子義冬は、足利家とゆかりの深い、天龍寺領であった平島庄（現在の阿南市那賀川町）に居を構えました。

平島の地には良質の港があり、上洛の機をうかがうには絶好の場所でありました。この義冬が初代「阿波公方」で、義冬の子、義榮は、この地より上洛し、室町幕府第14代將軍

となったのです。

その後、1805年（文化2年）、第9代阿波公方義根が阿波国を退去するまでの間、「阿波公方」の居館「平島館」には、高名な文人が入り出すなど、阿波南方における漢文学の中心地の観を呈し、文化・学術面にも大きな影響を与えました。その想いを偲ばれる史跡や文化財が多く遺されています。



西光寺（阿波公方の墓）



阿波公方ゆかりの資料



阿南市立阿波公方・民俗資料館

阿波公方の屋敷跡地に建ち、足利氏ゆかりの品々や資料、屋敷の大甍などの展示と地元の玉・農具・民具などが展示されています。近辺の西光寺は歴代公方の墓所があり、苔むした墓石からは歴史を感じることができます。

- 開館時間 午前9時～午後4時30分
- 入館料 大人 200円 / 中学生以下 無料
- 休館日 毎週月曜日・祝日・年末年始
- 問合せ 徳島県阿南市那賀川町古津 339 番地1 0884-42-2966

初代阿波公方 足利義冬像



富岡城は、創建時期は不明ですが、戦国時代には阿波守護細川氏の家臣新開氏の居城でした。後に阿波の実権は細川氏から家臣の三好氏に移りましたが牛岐城主は変わりませんでした。

天正3年に土佐の長宗我部元親が阿波を侵攻、周辺の諸城がすべて落城しても牛岐城の新開遠江守道善だけは最後まで抗戦しましたが、ついに天正8年、土佐軍の軍門に降りしました。天正10年、阿波全土を平定した長宗我部元親は道善を丈六寺で謀殺、弟の親康を牛岐城に配置し阿波南方の守備をさせました。

天正13年、豊臣秀吉の四国攻略により長宗我部軍は全面的に敗退し土佐に撤退、四国を掌中にした秀吉は蜂須賀家政を阿波国の大名に任命、家政は細山政慶（後に賀島に改姓）を牛岐城の城代に任じて兵三百で守らせました。牛岐城は阿波九城の一つであり、阿波南方最大の軍事拠点でした。

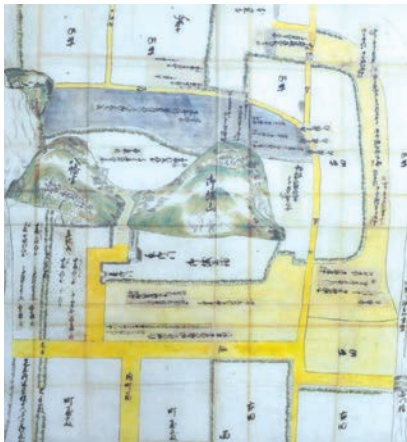
賀島政慶は間もなく牛岐の地名を縁起のよい富岡に改め、城も富岡城と呼ばれるようになりました。賀島氏は明治維新まで藩の次席家老としての重職を務めました。

寛永15年の一国一城令により富岡城は取り壊され、城の石垣は桑野川の灌漑施設である一ノ堰の建設に利用されました。城下町として成立した富岡町は城の廃止により商業地である郷町として徳島城下に次ぐ繁栄を遂げることとなりました。

富岡城の城山は南北に細長い瓢箪状の地形でしたが、大正2年の町道の開鑿により南北に分断されました。



牛岐城趾館に石垣の一部が残されています



牛岐・富岡城絵図（複製）



ご当地グルメ

新名物・郷土料理創造プロジェクト

あななん井と創作あななん井

阿南商工会議所青年部が2011年10月から立ち上げた『郷土料理創造プロジェクト』。

日本一の漁獲高を誇るハモをはじめ、阿南の豊かな食材を使った井を「あななん井」というネーミングとともに売り出そうと公募しました。

あななん井の認定基準は、「阿南近海のハモを使用」「その他の食材もできるだけ阿南産を使用」「自店で1年間提供できる」「阿南への愛情が感じられる」の4項目。また、ハモ以外の阿南産の

食材を使った井は「創作あななん井」として認定。

認定基準をクリアした「あななん井」を紹介した冊子には、阿南近海のハモをメインとした「ハモ・あななん井」に加え、阿南市の食材をたっぷり使用した「創作あななん井」が掲載されています。ぜひご賞味下さい。

※予約の必要なお店もあります。詳しくは「あななん井BOOK」をご覧ください。

◎問い合わせ

阿南商工会議所青年部
阿南市富岡町今福寺34-4
08984-261-23001



お問い合わせ一覧

宿泊

	名称	Tel (0884)
富岡町	ホテル石松	22-0126
	ロイヤルガーデンホテル	23-3838
	阿南第一ホテル	22-6622
	阿南第一ホテルアネックス	22-6622
	あなんステーションホテル	28-7711
	阿南ブラザホテル	22-9800
	阿南ブラザイン	28-6600
	ホテルサンオーシャン	23-2222
	ヴィレッジ淡島	23-4211
	茶夢	22-0511
	ホテル ルートイン阿南	050-5847-7340
福村町	かさざ	22-1283
中林町	ようき荘	22-2512
	司荘	22-5045
	浜銀荘	22-3235
	北の脇	23-6136
	北漁火	23-0035
	丸三荘	22-1235
	お宿なみおと	28-7355
畷町	海賊荘	22-3660
	平和荘	22-5309
津乃峰町	伊丹荘	27-1410
	一楽	27-0115
橘町	ベイサイドホテル龍宮	27-2027
桑野町	寿殿えもと	26-0052
椿・椿泊町	つばき荘	33-1227
	椿自然園	33-1127
	ゆきや荘	33-0070
	あたらしや	33-0137
	YMACA 阿南国際海洋センター	33-1221
伊島	入船旅館	33-0303
		(阿南市観光協会加盟店)
団体	阿南市観光協会	24-3141
	// 事務局 (市商工観光政課)	22-3290
	阿南商工会議所	22-2301
	那賀川町商工会	42-1772
	羽ノ浦町商工会	44-4858

タクシー

	名称	Tel (0884)
	阿南タクシー	22-2717
	新野タクシー	36-3131
	上中タクシー	22-2335
	加茂谷タクシー	35-1211
	桑野タクシー	26-0221
	橘タクシー	27-0018
	津乃峰タクシー	27-0334
	富岡タクシー	22-3422
	毎日タクシー	22-1420
	今津タクシー	42-0724
	中島タクシー	42-1177
	共栄タクシー	44-4444
	丸富タクシー	44-2244

JR

阿南駅	22-0147
羽ノ浦駅	44-2020

バス

かぐや姫観光事業部	34-3580
阿波交通(株)阿南営業所	22-2136
徳南交通(有)本社営業所	22-5135
徳島バス(株)橘営業所	27-0480
海部観光(株)予約センター	0570-064-188
	(阿南市観光協会加盟店)

旅行業

喜多旅行(株)	23-1270
JR四国ワーブルプラザ阿南	22-4769
徳島中央観光(有)	22-4212
徳バス観光サービス(株)阿南営業所	22-8228
牟岐通観光阿南店	23-3388
津峯観光(株)	22-1680
海部観光(株)	21-7155
	(阿南市観光協会加盟店)

案内所

光のまちステーションプラザ	24-3141
道の駅「公方の郷なかかわ」	21-2631
阿南ドリームガイド (要予約)	22-4356



阿南市への交通

飛行機

- 東京…約 1.2 時間
- 福岡…約 1.3 時間
- 札幌…約 2.0 時間 (夏期のみ)

フェリー

- 和歌山…約 2.0 時間
- 東京…約 18 時間

高速自動車



JR

- 徳島駅より牟岐線
- 特急 約 25 分
- 普通 約 50 分

路線バス

- 徳島駅前…約 1.0 時間
- ※阿南合同庁舎前までの時間

高速バス

- 阿南直行便路線
- 東京 約 10.1 時間
- 大阪 約 3.2 時間
- 神戸 約 3.0 時間
- ※運行会社により乗降場所が異なります。



空路

徳島阿波おどり空港 Tel.088-699-2831

フェリー

南海フェリー Tel.088-636-0750
 オーシャン東九フェリー Tel.088-662-0489

高速バス

徳島バス Tel.088-622-1826
 海部観光(株)電話予約センター Tel.0570-064-188
 JR四国バス高速バス徳島予約センター Tel.088-602-1090

JR阿南駅

駅レンタカー Tel.0884-22-0147

駅レンタカー

阿南駅営業所 (要予約) Tel.0884-22-0147

伊島連絡船 時刻表

上り		下り			
便	伊島発	答島着	便	答島発	伊島着
1月~12月					
1便	7:00	7:30	1便	8:30	9:00
2便	10:00	10:30	2便	12:30	13:00
1月及び11月~12月					
3便	14:45	15:15	3便	16:15	16:45
2月及び10月					
3便	15:15	15:45	3便	16:45	17:15
3月~9月					
3便	16:00	16:30	3便	17:15	17:45

※荒天のため欠航する場合があります。

旅客運賃 (伊島-答島間・片道料金)

大人→1,020円 子ども→510円

問い合わせ

伊島連絡交通事業有限公司 Tel.0884-33-1271

あなんの うま～いもん

筍やシロウオ…

海にも山にも恵まれた阿南市は食材の宝庫。
その食材を生かしたローカルフードをご紹介します。



フィッシュカツ

「豚」でも「鶏」でもないカツ、フィッシュカツ。魚のすり身にカレー粉などの香辛料を入れ、パン粉をまぶして揚げます。徳島県民に幅広く愛されており、家庭の食卓や飲食店のおつまみにはもちろん、お好み焼きにカツを乗せて焼いた「カツ玉」などを定番メニューとしているお好み焼き屋さんも多いです。

「カツ」と言えばコレ!



珍味中の珍味。

はも かわ 鱧皮ちくわ

味付けした鱧を、大小2本の竹に巻きつけて炭火で焼き上げ、すだち醤油でパクリ。皮についても肉厚で、噛めばジュシーな旨みが口いっぱいに広がります。また、皮膚の老化を防止するコンドロイチンが含まれて、お肌にも良いとか。阿南の居酒屋さんでは定番の一品です。



ひまわり娘

阿南菓子工業組合が阿南市・阿南商工会議所の支援を受け、「阿南を代表する銘菓を作ろう!」と共同開発された「ひまわり娘」は、阿南市の花「ひまわり」をイメージしたダックワーズのお菓子です。味はごま餡・抹茶餡・南風餡・抹茶&ホワイトチョコがあり、和洋折衷の不思議な風味が特徴です。

阿南で生まれた銘菓。

旅の仕上げは
お土産探し!!

道の駅 公方の郷なかがわ

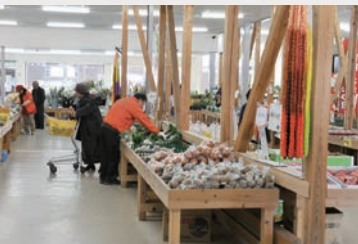
県南の特産品が勢揃い

国道55号線沿いにある「公方の郷なかがわ」。その由来は、室町時代末期から約270年間、足利将軍の末裔がこの地に居を構え、長年親しまれてきたことから名付けられました。ここには、阿南市をはじめ県南の特産品があり、JA産直市も人気です。地元市民はもとより休日には観光客も訪れ、買い物や休憩場所、県南の観光案内の場としても賑わいをみせています。また、野球によるまちづくりに取り組む阿南市は、四国八十八ヶ所霊場にちなみ、「89番 野球寺」と名付けた必勝祈願のモニュメントを、道の駅に誕生させました。



JA 産直市 とれとれ市 公方

地元で採れた新鮮野菜や魚が所狭しとならんでいます。値段もリーズナブルで遠方から買い求めにくる人も。お惣菜コーナーでは地場の食材を使ったお寿司なども人気です。



鯰のあて(にぎり)寿司。
柚子酢のさわやかな酸味が美味しい。



阿南の特産物、竹を使った「竹炭」グッズ。



物産展示コーナー

お土産を買うならここ。地元の木材で作られたおもちゃやコースター、銘菓など、県南の特産物展示と即売をしています。建物もログハウス調で、ゆったりとした気持ちでお土産選びが楽しめます。



喫茶・休憩コーナー

敷地内中心にある休憩コーナーはサークル状になっていて、飲食ブースがならんでいます。ドライブやツーリングの休憩ポイントです。



89番 野球寺の
バッテリーグローブをイメージした石碑



24時間道路情報提供装置

【公方の郷なかがわ 施設概要】

- ◎所在地 阿南市那賀川町工地803
- ◎駐車場 無料(大型5台・普通車82台・身障者用2台)
- ◎主要施設 産直市・物産展示コーナー・情報提供コーナー・休憩コーナー・トイレ
- ◎営業時間 喫茶コーナー/午前9時~午後5時30分 JA産直市/午前7時~午後5時(駐車場・トイレは24時間)
- ◎休館日 喫茶コーナー/毎週月曜日 JA産直市/毎週水曜日
- ◎問い合わせ TEL.0884-21-2631

阿南市の平等寺が『四国八十八景』に認定!



四国八十八景プロジェクト <https://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/88-kei/>

「四国八十八景」とは、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向け、四国を訪れる観光客の増加を図るため、四国らしさを感じられる景観を選定し、その魅力を広くプロモートしていく取組です。徳島県阿南市では、四国霊場第22番札所平等寺が選ばれました。仁王門から本堂の本尊薬師如来坐像の御手に「結縁の綱」が繋がっており、本堂まで上がると、お大師さんと結縁の綱と一緒に眺められます。ほっとする、実に日本らしい風景です。

MAP



お問い合わせ 四国霊場22番札所 平等寺

TEL 0884-36-3522 徳島県阿南市新野町秋山177番地

山門は何時でも、納経所は午前7時から午後5時まで開いていますので、ご自由にお参りください。

市民が憩い集うパブリックスペース 新庁舎完成!



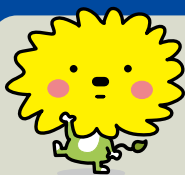
2017年に阿南市役所新庁舎が完成しました。東京スカイツリーも手がけた、世界で活躍する事務所が設計を担当。免震構造はもちろん、自然の「光と風」をやさしく取り込むデザインで、省CO2モデル庁舎です。

中央に設けた3層吹抜けの大空間を「あなんフォーラム」と名付け、市民参加型の市政を象徴するパブリックスペースとしました。桜の新名所となる市役所前広場は、夏まつり際には広場のベンチや2階テラス席からも観覧できる阿波踊りの演舞場に変わります。夜はLED照明によって彩られます。

お問い合わせ

阿南市役所

TEL 0884-22-1111 (代表) 徳島県阿南市富岡町トノ町12番地3



阿南市イメージアップキャラクター

あななん

facebook あななんファンクラブ

いちばん最初に太陽が昇る、四国最東端の“光のまち阿南”に咲くひまわりから生まれた、花と光のたてがみを持った、百獣の王ライオンのような不思議な生き物。豊かな自然の光と、人々が創り出す新しい光のエネルギーをたっぷり浴びて、元気にのびのび育っています。

阿南市物産館・観光案内所 ☎0884-24-3141

(光のまちステーションプラザ内)